

## 7. キャッシュ・フロー計算書

### キャッシュ・フロー計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日

< 5 組合計 >

(単位：円)

科 目	組合計	組合別内訳				
		みなみ北海道	北海道中央	十勝	北海道ひがし	オホーツク
<b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>						
共済掛金及び交付金収入	21,918,989,292	2,307,994,917	4,001,843,245	6,807,683,006	5,476,364,192	3,325,103,932
保険金等収入	23,009,529,410	2,044,754,377	4,196,603,842	6,527,873,674	6,215,970,948	4,024,326,569
診療収入	9,403,483,538	1,899,521,964	1,269,081,170	1,511,958,843	2,494,678,309	2,228,243,252
受取補助金及び賦課金収入	5,971,611,020	1,156,333,264	1,709,333,874	1,315,087,276	968,048,149	822,808,457
その他の業務活動による収入	1,785,975,996	393,914,817	514,250,659	325,138,445	257,536,964	295,135,111
保険料支出	△ 7,539,437,065	△ 754,760,398	△ 1,538,626,309	△ 2,949,817,912	△ 1,253,023,361	△ 1,043,209,085
共済金支出	△ 27,589,577,940	△ 2,539,107,304	△ 5,604,488,496	△ 7,812,491,189	△ 6,642,771,571	△ 4,990,719,380
診療人件費、往診旅費等診療諸掛による支出	△ 17,873,330,416	△ 2,910,055,584	△ 2,548,117,992	△ 3,546,926,352	△ 5,480,980,173	△ 3,387,250,315
無事戻金支出	0	0	0	0	0	0
人件費支出（診療人件費除く）	△ 5,970,152,310	△ 1,295,424,202	△ 1,704,800,907	△ 792,750,647	△ 1,604,538,645	△ 572,637,909
その他の業務活動による支出	△ 2,185,584,905	△ 338,771,114	△ 723,310,077	△ 489,376,882	△ 116,981,148	△ 517,145,684
小計	931,506,620	△ 35,599,263	△ 428,230,991	896,378,262	314,303,664	184,654,948
利息の受取額	243,717,313	59,447,316	31,827,688	60,452,388	49,580,108	42,409,813
利息の支払額	△ 2,927,179	△ 51,805	0	△ 2,875,374	0	0
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,172,296,754	23,796,248	△ 396,403,303	953,955,276	363,883,772	227,064,761
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>						
定期預金の払戻による収入	41,073,000,000	2,333,000,000	10,250,000,000	21,090,000,000	860,000,000	6,540,000,000
定期預金の預入による支出	△ 39,725,000,000	△ 2,290,000,000	△ 9,545,000,000	△ 20,340,000,000	△ 960,000,000	△ 6,590,000,000
金銭信託の終了による収入	0	0	0	0	0	0
金銭信託の開始による支出	0	0	0	0	0	0
有価証券の償還による収入	400,018,050	0	100,018,050	300,000,000	0	0
有価証券の売却による収入	0	0	0	0	0	0
有価証券の取得による支出	△ 49,420,000	0	△ 49,420,000	0	0	0
有形固定資産の売却による収入	162,845,171	148,078,143	3,753,402	7,600,000	663,626	2,750,000
有形固定資産の取得による支出	△ 1,195,289,661	△ 173,036,063	△ 149,423,908	△ 693,647,861	△ 45,145,940	△ 134,035,889
無形固定資産の売却による収入	307,733	0	307,733	0	0	0
無形固定資産の取得による支出	△ 3,151,800	△ 740,000	△ 1,751,800	△ 52,000	△ 293,000	△ 315,000
その他投資活動による収入	927,667,614	146,015,101	231,457,292	4,569,881	524,987,750	20,637,590
その他投資活動による支出	△ 376,613,841	△ 10,651,000	△ 130,000,000	△ 125,158,841	△ 99,700,000	△ 11,104,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,214,363,266	152,666,181	709,940,769	243,311,179	280,512,436	△ 172,067,299
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>						
短期借入による収入	0	0	0	0	0	0
短期借入金返済による支出	0	0	0	0	0	0
長期借入による収入	0	0	0	0	0	0
長期借入金返済による支出	0	0	0	0	0	0
リース債務の返済による支出	△ 49,148,213	△ 1,248,395	0	△ 47,899,818	0	0
その他の財務活動による収入	0	0	0	0	0	0
その他の財務活動による支出	0	0	0	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 49,148,213	△ 1,248,395	0	△ 47,899,818	0	0
<b>IV 資金に係る換算差額</b>	0	0	0	0	0	0
<b>V 資金増加額（又は減少額）</b>	2,337,511,807	175,214,034	313,537,466	1,149,366,637	644,396,208	54,997,462
<b>VI 資金期首残高</b>	3,954,325,932	553,518,756	386,822,156	530,294,289	1,968,340,945	515,349,786
<b>VII 資金期末残高</b>	6,291,837,739	728,732,790	700,359,622	1,679,660,926	2,612,737,153	570,347,248

## 8. 重要な会計方針

農業共済団体会計基準（平成23年4月8日付け22経営第7209号農林水産省経営局長通知）を適用して財務諸表等を作成しています。

### （1）減価償却の会計処理方法

#### ア. 有形固定資産

定額法を採用しています。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

建物	7～50年
構築物	7～30年
車両運搬具	5～7年
機械器具	4～15年
器具備品	4～30年
診療用車両運搬具	6年
医療器具機械	2～30年

#### イ. 無形固定資産

定額法を採用しています。

#### ウ. リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とした定額法によっております。

また、残存価額については、リース契約上に残価保証の取り決めがあるものは当該残価保証額とし、それ以外のものは零としております。

業務勘定の有形固定資産及び無形固定資産は、当該固定資産の取得原価から当該固定資産を取得するための借入金を控除した金額を取得事業年度に費用配分しており、減価償却費による費用配分は行っておりません。

また、当該固定資産の貸借対照表計上額は、当該固定資産の取得原価から減価償却相当額（減価償却累計額と同額）を直接控除した金額を計上しております。

### （2）引当金の計上基準

#### ア. 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。なお、各組合は、引当対象職員数300人未満につき、退職給付債務のうち、退職一時金に係る債務については、自己都合退職による期末要支給額によっております。また、役員退任慰労金は、特定組合化に伴い、役員退任慰労金を3月31日時点で支給したため計上していません。

#### イ. 貸倒引当金

未収金等の債権で、債権発生年度の翌年度から3事業年度を経過した金額を計上しております。

#### ウ. 建設引当金

固定資産建設に備えるための引当金で、事務所、家畜診療所、公宅、農作物実測調製施設等の建物を対象に取得に係る費用を引当必要額とし、税法上の耐用年数を引当時期として計上しております。

エ. 修繕引当金

固定資産修繕に備えるための引当金で、事務所、家畜診療所、公宅、農作物実測調製施設等建物の改修を見込み、必要額を計上しております。

オ. 更新引当金

事業に必要な固定資産の取得に備えるための引当金で、防除等機械の更新に充てるため計上しております。

カ. 事務機械化準備金

次期システム等の更新に備えるための引当金で、更新計画に合わせて機器及び導入経費等の必要額を計上しております。

キ. 業務引当金

将来の収入不足や予見し難い支出に備えるための引当金で、金利低迷による受取利息の減少並びに緊急措置的な業務支出の影響に備え必要額を見積り計上しております。

(3) 責任準備金の計上基準

農業保険法施行規則（平成 29 年農林水産省令第 63 号）第 29 条に基づき

- ① 農作物共済勘定、果樹共済勘定及び畑作物共済勘定は、決算時において責任期間が翌事業年度にわたる共済の共済関係に係る手持掛金部分の金額を計上しております。
- ② 家畜共済勘定及び園芸施設共済勘定は、決算時において各共済で責任期間が翌事業年度にわたる共済の共済関係のうち、未だ経過しない部分の手持掛金部分の金額を計上しております。

(4) 支払備金の計上基準

農業保険法施行規則（平成 29 年農林水産省令第 63 号）第 28 条に基づき、農作物共済勘定、畑作物共済勘定及び園芸施設共済勘定は、決算時において共済金の支払又は共済掛金の返還の義務はあるが、その金額が確定していないものがあるときはその金額の見込額、訴訟係属中のものがあるときはその金額、これらの金額が推定できないときはこれらの金額の手持掛金部分の金額を計上しております。

(5) 有価証券の評価基準及び評価方法

ア. 満期保有目的の債券

平均原価法（移動平均法）による償却原価法（定額法）によっております。

イ. その他有価証券

① 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価（売却原価の算定は平均原価法により算定）により行っております。なお、その他有価証券の評価差額は、その全額を純財産の部に計上しております。

② 時価のないもの

該当するものは保有しておりません。

(6) たな卸資産等の評価基準及び評価方法

先入先出法による取得原価（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により計上しております。

(7) リース取引の処理方法

リース料総額が 300 万円以上のファイナンス・リース取引は、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が 300 万円未満のファイナンス・リース取引は、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引(少額・短期リース取引を除きます。)のうち、平成 24 年 3 月 31 日以前に取引を行ったものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

(8) キャッシュ・フロー計算書関係

ア. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手持現金及び要求払預金

イ. 資金の期末残高と貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

現金及び預金 38,216,837,739 円

現金及び預金のうち定期預金 31,925,000,000 円

---

資金期末残高 6,291,837,739 円

ウ. 重要な非資金取引の内容

該当事項はありません。

(9) 減損損失関係

ア. 減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価格等の概要

(単位:円)

用途	種 類	場 所	帳簿価格	減損額のうち 損益計算書に 計上した額	減損額のうち損 益計算書に計上 しなかった額
通信設備	電話加入権	事務所 (388 回線)	25,897,546	—	22,558,014

イ. 減損の認識に至った経緯

電話加入権は、標準価格が取得価額より著しく下落しており、回復の可能性があると見込まれないことから、減損を認識いたしました。

ウ. 減損損失の損益計算書内訳

業務勘定の有形固定資産及び無形固定資産は、当該固定資産の取得原価から当該固定資産を取得するための借入金を控除した金額を取得事業年度に費用配分していることから、減損損失の額は減損を認識した費用には計上しておりません。

エ. 回収可能価格の算定方法

回収可能価格は国税庁が示す適用地域の標準価格(北海道:1,500 円)を採用しております。

(10) 金融商品関係

ア. 金融商品の状況に関する事項

当組合の余裕金は、農業保険法施行規則(平成 29 年農林水産省令第 63 号)第 34 条に基づき、預貯金、国債、地方債、特別の法律により法人の発行する債券により運用しております。

未収債権は、経理規則の未収金等債権管理要領に基づき管理しております。

イ. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 現金及び預金	38,216,838	38,216,838	—
(2) 有価証券及び投資有価証券	15,805,607	15,809,660	4,053
ア. 満期保有目的の債券	599,967	604,020	4,053
イ. その他有価証券	15,205,640	15,205,640	0
(3) 未収債権	3,070,374	3,070,374	—
(4) 退職給与金施設預託金	5,822,881	5,822,881	—
(5) 厚生資金	3,733	3,733	—
(6) 未払債務	(5,588,396)	(5,588,396)	(—)
(7) リース債務	(187,190)	(187,190)	(—)

(注) 負債に計上されているものは、( ) で示しています。

① 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金、(3) 未収債権、(6) 未払い債務

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価については、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

(4) 退職給与金施設預託金

退職給与金施設預託金の時価については、公益社団法人全国農業共済協会から提示された期末時における金額を帳簿価額としており、時価は帳簿価額と等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 厚生資金

厚生資金については、職員福利厚生規則により貸付している資金の期末時における残高を帳簿価額としており、時価は帳簿価額と等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(7) リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入またはリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

② 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

外部出資（貸借対照表計上額 87,211 千円）のうち、市場価格のある株式はありません。また、市場価格のある株式以外のものについては、時価を把握することが極めて困難であると認められるため、時価開示の対象としていません。

(11) 賃貸等不動産関係

維持管理が困難な土地と、職員住宅として保有している建物で現在利用されていない物件を賃貸しております。これらの賃貸不動産の貸借対照表計上額、当期増減及び時価は次のとおりであります。

土地 1 筆	北見市美園 500 番地 8 及び 9	726.60 m <sup>2</sup>
	北広島市稲穂町	
建物 2 棟	羽幌町緑町 42-1	木造亜鉛メッキ鋼板ぶき平屋建
	天塩町字川口 5690-18	木造亜鉛メッキ鋼板ぶき平屋建
	当別町栄町	旧実測調整所
	新冠町北星町	公宅
	新ひだか町三石梺舞	公宅

(単位:円)

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期増減額	当期末残高	
7,940,167	△202,287	7,737,880	40,990,214

(注) 貸借対照表計上額は、取得価額から減価償却相当額及び減損損失累計額を控除した金額であります。

当期増減額は旧実測調整所の減価償却による減少であります。

当期末の時価は、主として「固定資産税課税評価額」を基に算定した金額であります。

また、賃貸等不動産に関する令和 3 年度における収益及び費用は次のとおりであります。

(単位:円)

賃貸収益	賃貸費用	その他損益(売却損益等)
2,544,000	550,884	146,021,011

## (12) 資産除去債務関係

当組合は、次の土地賃貸契約について、契約終了時における原状回復義務を負っておりますが、当該債務に関する賃貸資産の使用期間が明確でなく、原状回復義務の履行時期を合理的に見積もることが困難であることから、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

ただし、十勝東部の浦幌町農業協同組合からの借地については、令和 4 年度に使用期間が終了することから、資産除去債務に 41,760 千円を計上しております。

支所名	土地賃貸契約先	備考
南空知	長沼町	事務所・診療所・実測センター用地
中空知	滝川市	実測調製センター用地
北空知	ホクレン農業協同組合連合会	事務所・診療所用地
	北空知広域農業協同組合連合会	実測調製センター用地
上川北	美深町	美深家畜診療所敷地
	北はるか農業協同組合	中川家畜診療所敷地
留 萌	羽幌町	職員住宅敷地
	天塩町	職員住宅敷地、診療所用地
宗 谷	浜頓別町	職員住宅敷地
十勝東部	浦幌町農業協同組合	浦幌家畜診療所建設用地

- (13) 重要な後発事象に関する事項  
該当事項はありません。

## 9. 剰余金処分案及び不足金処理案

<組合等名：みなみ北海道農業共済組合>

### 剰余金処分案

区 分	項 目	繰 越 不 足 金	当 期 剰 余 金	未 処 分 剰 余 金
		円	円	円
	農作物共済勘定	0	57,297,269	57,297,269
	果樹共済勘定	0	64,642	64,642
	畑作物共済勘定	0	88,070,239	88,070,239
	園芸施設共済勘定	0	9,347,577	9,347,577

上記未処分剰余金を下記のとおり処分する。

#### (1) 農作物共済勘定

区分別の積立金の当期の金額は、既積立金総額（繰越不足金）と当期剰余金の合計額 2,332,336,037円を区分ごとの過不足累計額、（水稲894,112,651円（38.34%）、麦1,438,223,386円（61.66%））により配分し、この配分額から既積立金差額を差し引いて得たものである。

区 分	項 目	法定積立金		特別積立金		計		摘 要
		当 期	累 計	当 期	累 計	当 期	累 計	
		円	円	円	円	円	円	
	水 稲	4,841,282	683,684,995	4,841,282	210,532,642	9,682,564	894,217,637	
	麦	23,807,353	237,724,852	23,807,352	1,200,393,548	47,614,705	1,438,118,400	
	合 計	28,648,635	921,409,847	28,648,634	1,410,926,190	57,297,269	2,332,336,037	

#### (2) 果樹共済勘定

果樹区分別の積立金の当期は、既積立金総額（繰越不足金）と当期剰余金の合計額 7,716,838円を果樹区分別の過不足累計額、（りんご特定危険方式7,715,295円（99.98%）、りんご半相殺一般方式1,543円（0.02%））により配分し、この配分額から既積立金差額を差し引いて得たものである。

区 分	項 目	法定積立金		特別積立金		計		摘 要
		当 期	累 計	当 期	累 計	当 期	累 計	
		円	円	円	円	円	円	
	りんご半相殺 減収総合一般方式	32,315	6,287,369	32,314	1,427,926	64,629	7,715,295	
	りんご半相殺 減収暴風雨・ひょう害 方式	7	772	6	771	13	1,543	
	合 計	32,322	6,288,141	32,320	1,428,697	64,642	7,716,838	

(3) 畑作物共済勘定

区 分	法定積立金		特別積立金		計		摘 要
	当 期	累 計	当 期	累 計	当 期	累 計	
全相殺ばれいしょ	9,368,050	158,686,608	9,368,049	77,733,205	18,736,099	236,419,813	
インデックスばれいしょ	4,401	37,707	4,401	37,706	8,802	75,413	
半相殺大豆	411,367	28,417,274	411,366	4,311,976	822,733	32,729,250	
全相殺大豆	21,318,267	139,957,289	21,318,266	112,902,562	42,636,533	252,859,851	
半相殺・全相殺小豆	1,482,717	86,316,720	1,482,717	24,691,243	2,965,434	111,007,963	
インデックス小豆	4,401	37,707	4,401	37,706	8,802	75,413	
半相殺・全相殺いんげん	46,169	2,426,989	46,169	815,771	92,338	3,242,760	
全相殺てん菜	10,714,009	58,549,033	10,714,009	54,268,843	21,428,018	112,817,876	
全相殺そば	0	0	0	0	0	0	
全相殺スイートコーン	0	0	0	0	0	0	
全相殺たまねぎ	685,740	2,450,923	685,740	2,450,923	1,371,480	4,901,846	
全相殺かぼちゃ	0	0	0	0	0	0	
合 計	44,035,121	476,880,250	44,035,118	277,249,935	88,070,239	754,130,185	

畑作物区分別の積立金の当期の金額は、既積立金総額(繰越不足金)と当期剰余金の合計額753,999,435円を畑作物区分別の過不足累計額(全相殺ばれいしょ260,275,765円(31.35%)、インデックスばれいしょ123,167円(0.01%)、半相殺大豆36,005,879円(4.34%)、全相殺大豆278,276,452円(33.53%)、インデックス大豆14,789円(0.00%)、半相殺・全相殺小豆122,170,594円(14.72%)、インデックス小豆100,679円(0.01%)、半相殺・全相殺いんげん3,572,134円(0.43%)、全相殺てん菜124,235,616円(14.96%)、全相殺そば△18,743,548円(0.00%)、全相殺スイートコーン△11,781,896円(0.00%)、インデックススイートコーン7,207円(0.00%)、全相殺たまねぎ5,394,379円(0.65%)、全相殺かぼちゃ△45,651,782円(0.00%))により配分し、この配分額から既積立金差額を差し引いて得たものである。

(4) 園芸施設共済勘定

区 分	法定積立金		特別積立金		計		摘 要
	当 期	累 計	当 期	累 計	当 期	累 計	
園芸施設共済勘定	4,673,789	88,584,972	4,673,788	38,122,410	9,347,577	126,707,382	

## 不 足 金 処 理 案

区 分 \ 項 目	繰 越 不 足 金	当 期 剩 余 ( 不 足 ) 金	未 処 理 不 足 金
家 畜 共 済 勘 定	円 0	円 159,041,704	円 159,041,704
家 畜 診 療 所 勘 定	円 0	円 10,705,304	円 10,705,304

上記未処理不足金を下記のとおり処理する。

### (1) 家畜共済勘定

区 分 \ 項 目	法定積立金 による補てん	特別積立金 による補てん	繰越剰余金 による補てん	繰越不足金	摘 要 (処分後積立金累計額)
家 畜 共 済 勘 定	円 72,245,774	円 86,795,930	円 0	円 0	円 法定 0 特別 161,622,020

### (2) 家畜診療所勘定

区 分 \ 項 目	法定積立金 による補てん	特別積立金 による補てん	繰越剰余金 による補てん	繰越不足金	摘 要 (処分後繰越剰余金)
家畜診療所勘定	円 0	円 0	円 10,705,304	円 0	円 366,528,578

<組合等名：北海道中央農業共済組合>

### 剰余金処分案

区 分	項 目	繰 越 不 足 金	当 期 剰 余 金	未 処 分 剰 余 金
		円	円	円
	農作物共済勘定	0	100,092,043	100,092,043
	果樹共済勘定	0	18,781	18,781
	畑作物共済勘定	0	45,679,854	45,679,854
	園芸施設共済勘定	0	28,436,329	28,436,329
	家畜診療所勘定	0	62,420,193	62,420,193

上記未処分剰余金を下記のとおり処分する。

#### (1) 農作物共済勘定

既積立金総額と当期剰余金の合計額4,090,355,409円を共済目的の過不足累計額、水稻1,043,761,005円(25.94%)、麦2,979,974,995円(74.06%)により配分し、この配分額から既積立額を差し引いて得た共済目的別当期剰余金を次のとおり積み立てる。

区 分	項 目	法定積立金		特別積立金		計		摘 要
		当 期	累 計	当 期	累 計	当 期	累 計	
		円	円	円	円	円	円	
	水 稻	50,046,021	843,367,518	50,046,022	215,285,245	100,092,043	1,058,652,763	
	麦	0	237,683,020	0	2,794,019,626	0	3,031,702,646	
	合 計	50,046,021	1,081,050,538	50,046,022	3,009,304,871	100,092,043	4,090,355,409	

#### (2) 果樹共済勘定

既積立金総額と当期剰余金の合計額1,228,041円を果樹区分別の過不足累計額、りんご半相殺減収総合一般方式723円(0.06%)、りんご半相殺減収暴風雨・ひょう害方式1,224,070円(99.68%)、ぶどう災害収入共済方式3,248円(0.26%)により配分し、この配分額から既積立額を差し引いて得た当期剰余金を次のとおり積み立てる。

区 分	項 目	法定積立金		特別積立金		計		摘 要
		当 期	累 計	当 期	累 計	当 期	累 計	
		円	円	円	円	円	円	
	りんご半相殺 減収総合一般方式	6	370	5	367	11	737	
	りんご半相殺 減収暴風雨・ひょう害 方式	7,789	1,201,472	7,788	22,639	15,577	1,224,111	
	ぶどう災害収入 共済方式	1,597	1,597	1,596	1,596	3,193	3,193	
	合 計	9,392	1,203,439	9,389	24,602	18,781	1,228,041	

(3) 畑作物共済勘定

区 分	法定積立金		特別積立金		計		摘 要
	当 期	累 計	当 期	累 計	当 期	累 計	
全 相 殺 ば れ い し ょ	3,783,372	25,909,827	3,783,372	25,909,827	7,566,744	51,819,654	
インデックス ば れ い し ょ	23,795	57,706	23,795	57,705	47,590	115,411	
半 相 殺 大 豆	537,251	14,365,314	537,250	15,064,556	1,074,501	29,429,870	
全 相 殺 大 豆	3,492,193	84,673,393	3,492,193	84,673,393	6,984,386	169,346,786	
インデックス 大 豆	2,280	19,235	2,280	19,235	4,560	38,470	
半相殺・全相殺 小 豆	1,934,685	36,614,798	1,934,684	56,675,968	3,869,369	93,290,766	
インデックス 小 豆	2,280	19,235	2,280	19,235	4,560	38,470	
半相殺・全相殺 い ん げ ん	45,479	1,323,453	45,479	1,446,417	90,958	2,769,870	
インデックス い ん げ ん	0	0	0	0	0	0	
全 て 相 殺 ん 菜	0	0	0	0	0	0	
インデックス て ん 菜	21,516	38,471	21,515	38,470	43,031	76,941	
ホ ッ プ	30,006	30,006	30,005	46,935	60,011	76,941	
全 相 殺 そ ば	0	0	0	0	0	0	
インデックス そ ば	19,235	19,235	19,235	19,235	38,470	38,470	
全 相 殺 ス イ ー ト コ ー ン	0	0	0	0	0	0	
インデックス ス イ ー ト コ ー ン	0	0	0	0	0	0	
全 た 相 殺 ま ね ぎ	12,902,527	18,735,095	12,902,526	18,735,093	25,805,053	37,470,188	
インデックス た ま ね ぎ	45,311	96,177	45,310	96,175	90,621	192,352	
全 相 殺 か ぼ ち ゃ	0	0	0	0	0	0	
インデックス か ぼ ち ゃ	0	0	0	0	0	0	
合 計	22,839,930	181,901,945	22,839,924	202,802,244	45,679,854	384,704,189	

畑作物区分別の積立金の当期の金額は、既積立金総額（繰越不足金）と当期剰余金の合計額 45,679,854円を畑作物区分別の過不足累計額（全相殺ばれいしょ 118,506,762円（13.47%）、インデックスばれいしょ 301,098円（0.03%）、半相殺大豆 67,327,384円（7.65%）、全相殺大豆387,386,705円（44.02%）、インデックス大豆73,417円（0.01%）、半相殺・全相殺小豆 213,352,347円（24.25%）、インデックス小豆 72,547円（0.01%）、半相殺・全相殺いんげん6,362,633円（0.72%）、インデックスいんげん△153,793円（0.00%）、全相殺てん菜 △48,574,624円（0.00%）、インデックスてん菜 185,588円（0.02%）、ホップ 142,806円（0.02%）、全相殺そば △289,764,434円（0.00%）、インデックスそば 102,328円（0.01%）、全相殺スイートコーン △38,473,129円（0.00%）、インデックススイートコーン 2,287円（0.00%）、全相殺たまねぎ85,685,376円（9.74%）、インデックスタまねぎ 456,083円（0.05%）、全相殺かぼちゃ △118,288,813円（0.00%）、インデックスかぼちゃ 1,621円（0.00%）により配分し、この配分額から既積立額を差し引いて得たものである。

(4) 園芸施設共済勘定

区 分	法定積立金		特別積立金		計		摘 要
	当 期	累 計	当 期	累 計	当 期	累 計	
園芸施設共済勘定	14,218,165	111,768,826	14,218,164	32,991,465	28,436,329	144,760,291	

(5) 家畜診療所勘定

区 分	繰 越 剰 余 金		摘 要
	当 期	累 計	
家畜診療所勘定	62,420,193	1,199,634,516	

## 不 足 金 処 理 案

区 分 \ 項 目	繰 越 不 足 金	当 期 剰 余 ( 不 足 ) 金	未 処 理 不 足 金
家 畜 共 済 勘 定	円 168,796,465	円 △ 65,879,195	円 234,675,660

(注) 当期不足金については当期剰余(不足)金の欄に△を付して表示する。  
 上記未処理不足金を下記のとおり処理する。

### (1) 家畜共済勘定

区 分 \ 項 目	法定積立金 による補てん	特別積立金 による補てん	繰越剰余金 による補てん	繰越不足金	摘 要 (処分後積立金累計額)
家畜共済勘定	円 0	円 0	円 0	円 234,675,660	法 定 特 別 円 0 0

<組合等名：十勝農業共済組合>

## 剰余金処分案

項目 区分	繰越不足金	当期剰余金	未処分剰余金
農作物共済勘定	円 0	円 426,033,379	円 426,033,379
畑作物共済勘定	円 0	円 346,073,401	円 346,073,401

上記未処分剰余金を下記のとおり処分する。

### (1) 農作物共済勘定

既積立金総額と当期剰余金の合計額 3,890,673,758 円を共済目的別の過不足累計額、水稲 95,788,909 円 (2.45%)、麦 3,817,449,485 円 (97.55%) により配分し、この配分額から既積立額を差し引いて得た共済目的別当期剰余金を次のとおり積み立てる。

項目 区分	法定積立金		特別積立金		計		摘要
	当期	累計	当期	累計	当期	累計	
水稲	円 21,949	円 1,585,197	円 21,948	円 93,736,310	円 43,897	円 95,321,507	
麦	212,994,741	526,645,278	212,994,741	3,268,706,973	425,989,482	3,795,352,251	
合計	213,016,690	528,230,475	213,016,689	3,362,443,283	426,033,379	3,890,673,758	

### (2) 畑作物共済勘定

項目 区分	法定積立金		特別積立金		計		摘要
	当期	累計	当期	累計	当期	累計	
全相殺ばれいしょ	円 13,782,498	円 699,470,999	円 13,782,497	円 392,066,729	円 27,564,995	円 1,091,537,728	
半相殺大豆	257,913	35,484,654	257,912	24,738,117	515,825	60,222,771	
全相殺大豆	36,632,334	207,783,208	36,632,333	250,340,016	73,264,667	458,123,224	
半相殺・小相殺大豆	47,297,389	895,891,174	47,297,389	582,792,941	94,594,778	1,478,684,115	
半相殺・小相殺いんげん	0	0	0	0	0	0	
全相殺てん菜	75,066,568	248,060,463	75,066,568	248,060,462	150,133,136	496,120,925	
全相殺そば	0	0	0	0	0	0	
全相殺スイートコーン	0	0	0	0	0	0	
全相殺たまねぎ	0	0	0	0	0	0	
全相殺かぼちゃ	0	0	0	0	0	0	
合計	173,036,702	2,086,690,498	173,036,699	1,497,998,265	346,073,401	3,584,688,763	

既積立金総額と当期剰余金の合計額 3,584,688,763 円を畑作物区分別の過不足累計額 ばれいしょ 1,212,069,378 円 (30.45%)、半相殺大豆 66,881,207 円 (1.68%)、全相殺大豆 508,531,889 円 (12.78%)、小豆 1,642,162,384 円 (41.25%)、いんげん 0 円 (0.00%)、てん菜 550,894,559 円 (13.84%)、そば 0 円 (0.00%)、スイートコーン 0 円 (0.00%)、たまねぎ 0 円 (0.00%)、かぼちゃ 0 円 (0.00%) により配分し、この配分額から既積立額を差し引いて得た畑作物区分別当期剰余金を次のとおり積み立てる。

## 不 足 金 処 理 案

区 分 \ 項 目	繰 越 不 足 金	当 期 剩 余 ( 不 足 ) 金	未 処 理 不 足 金
家 畜 共 済 勘 定	0 円	108,799,486 円	108,799,486 円
園 芸 施 設 共 済 勘 定	0	12,344,411	12,344,411
家 畜 診 療 所 勘 定	0	156,051,601	156,051,601

上記未処理不足金を下記のとおり処理する。

### (1) 家畜共済勘定

区 分 \ 項 目	法定積立金 による補てん	特別積立金 による補てん	繰越剰余金 による補てん	繰越不足金	摘 要 (処分後積立金累計額)
家 畜 共 済 勘 定	108,799,486 円	0 円	0 円	0 円	法 定 0 特 別 0 円

### (2) 園芸施設共済勘定

区 分 \ 項 目	法定積立金 による補てん	特別積立金 による補てん	繰越剰余金 による補てん	繰越不足金	摘 要 (処分後積立金累計額)
園 芸 施 設 共 済 勘 定	12,344,411 円	0 円	0 円	0 円	法 定 0 特 別 0 円

### (3) 家畜診療所勘定

区 分 \ 項 目	法定積立金 による補てん	特別積立金 による補てん	繰越剰余金 による補てん	繰越不足金	摘 要 (処分後積立金累計額)
家 畜 診 療 所 勘 定	0 円	0 円	156,051,601 円	0 円	法 定 0 特 別 0 円

<組合等名：北海道ひがし農業共済組合>

### 剰余金処分案

区分	項目	繰越不足金	当期剰余金	未処分剰余金
		円	円	円
	農作物共済勘定	0	1,285,813	1,285,813
	畑作物共済勘定	0	75,235,929	75,235,929
	園芸施設共済勘定	0	107,597	107,597
	家畜診療所勘定	0	383,494,174	383,494,174

上記未処分剰余金を下記のとおり処分する。

#### (1) 農作物共済勘定

区分	項目	法定積立金		特別積立金		計		摘要
		当期	累計	当期	累計	当期	累計	
		円	円	円	円	円	円	
	農作物共済勘定	642,907	642,907	642,906	3,776,258	1,285,813	4,419,165	

#### (2) 家畜共済勘定

区分	項目	法定積立金		特別積立金		計		摘要
		当期	累計	当期	累計	当期	累計	
		円	円	円	円	円	円	
	家畜共済勘定	37,617,695	1,162,202,322	37,617,964	652,234,440	75,235,659	1,814,436,762	

#### (3) 園芸施設共済勘定

区分	項目	法定積立金		特別積立金		計		摘要
		当期	累計	当期	累計	当期	累計	
		円	円	円	円	円	円	
	園芸施設共済勘定	53,799	1,416,865	53,798	596,181	107,597	2,013,046	

#### (4) 家畜診療所勘定

区分	項目	繰越剰余金		摘要
		当期	累計	
		円	円	
	家畜診療所勘定	383,494,174	1,378,621,532	

### 不足金処理案

区分	項目	繰越不足金	当期剰余(不足)金	未処理不足金
		円	円	円
	畑作物共済勘定	11,563,505	7,226,115	4,337,390

上記未処理不足金を下記のとおり処理する。

#### (1) 畑作物共済勘定

区分	項目	法定積立金による補てん	特別積立金による補てん	繰越剰余金による補てん	繰越不足金	摘要 (処分後積立金累計額)
		円	円	円	円	円
	畑作物共済勘定	0	0	0	4,337,390	法定 特別 0 0

<組合等名：オホーツク農業共済組合>

## 剰余金処分案

項目 区分	繰越不足金	当期剰余金	未処分剰余金
	円	円	円
農作物共済勘定	0	130,986,412	130,986,412
畑作物共済勘定	0	263,764,803	263,764,803
園芸施設共済勘定	0	664,099	664,099
家畜診療所勘定	0	130,361,026	130,361,026

上記未処分剰余金を下記のとおり処分する。

### (1) 農作物共済勘定

既積立金総額と当期剰余金の合計額4,090,355,409円を共済目的の過不足累計額、水稻1,043,761,005円(25.94%)、麦2,979,974,995円(74.06%)により配分し、この配分額から既積立額を差し引いて得た共済目的別当期剰余金を次のとおり積み立てる。

項目 区分	法定積立金		特別積立金		計		摘要
	当期	累計	当期	累計	当期	累計	
	円	円	円	円	円	円	
水 稲	1,354,475	17,087,370	1,354,474	6,968,758	2,708,949	24,056,128	
麦	64,138,732	104,709,022	64,138,731	2,574,170,548	128,277,463	2,678,879,570	
合 計	65,493,207	121,796,392	65,493,205	2,581,139,306	130,986,412	2,702,935,698	

### (2) 畑作物共済勘定

項目 区分	法定積立金		特別積立金		計		摘要
	当期	累計	当期	累計	当期	累計	
	円	円	円	円	円	円	
全相殺ばれいしょ	22,245,751	410,854,128	22,245,750	332,219,297	44,491,501	743,073,425	
インデックスばれいしょ	0	0	0	0	0	0	
半大相殺大豆	64,657	7,865,344	64,657	5,620,207	129,314	13,485,551	
全大相殺大豆	7,290,984	84,304,539	7,290,983	70,095,252	14,581,967	154,399,791	
半相殺・全相殺小豆	3,387,344	100,399,902	3,387,344	72,566,952	6,774,688	172,966,854	
半相殺・全相殺いんげん	1,285,118	13,737,061	1,285,118	25,351,494	2,570,236	39,088,555	
全相殺菜	38,939,230	174,530,397	38,939,229	174,530,396	77,878,459	349,060,793	
全相殺そば	0	0	0	0	0	0	
全相殺スイートコーン	0	0	0	0	0	0	
全相殺たまねぎ	58,669,319	251,538,835	58,669,319	230,813,930	117,338,638	482,352,765	
全相殺かぼちゃ	0	0	0	0	0	0	
合 計	131,882,403	1,043,230,206	131,882,400	911,197,528	263,764,803	1,954,427,734	

畑作物区別の積立金の当期の金額は、既積立金総額(繰越不足金)と当期剰余金の合計額1,954,427,734円を畑作物区別の過不足累計額(全相殺ばれいしょ767,096,151円(38.02%)、インデックスばれいしょ30,530円(0.00%)、半相殺大豆13,835,077円(0.69%)、全相殺大豆159,380,756円(7.90%)、半・全相殺小豆178,599,368円(8.85%)、半・全相殺いんげん40,317,276円(2.00%)、全相殺てんさい360,349,299円(17.86%)、全相殺たまねぎ497,951,096円(24.68%)、全相殺スイートコーン△7,791,007円(0.00%)、全相殺かぼちゃ△16,829,142円(0.00%)、全相殺そば△31,911,487円(0.00%)により配分し、この配分額から既積立額を差し引いて得たものとする。

### (3) 園芸施設共済勘定

項目 区分	法定積立金		特別積立金		計		摘要
	当期	累計	当期	累計	当期	累計	
	円	円	円	円	円	円	
園芸施設共済勘定	332,050	44,862,044	332,049	12,984,269	664,099	57,846,313	

### (4) 家畜診療所勘定

項目 区分	繰越剰余金		摘要
	当期	累計	
	円	円	
家畜診療所勘定	130,361,026	1,484,445,321	

## 不 足 金 処 理 案

区 分 \ 項 目	繰 越 不 足 金	当 期 剩 余 ( 不 足 ) 金	未 処 理 不 足 金
	円	円	円
家 畜 共 済 勘 定	171,447,846	22,203,842	149,244,004

上記未処理不足金を下記のとおり処理する。

### (1) 家畜共済勘定

区 分 \ 項 目	法定積立金 による補てん	特別積立金 による補てん	繰越剰余金 による補てん	繰越不足金	摘 要 (処分後積立金累計額)
	円	円	円	円	円
家畜共済勘定	0	0	0	149,244,004	法 定 0 特 別 0